

震災復興特別賞

各部門の候補のうち、震災からの復興に寄与したもので震災復興特別賞として賞することがふさわしいものを顕彰します。



神戸国際会館 (神戸市中央区)

戦災・震災を乗り越えた
神戸の芸術・文化のシンボル

- 戦災と震災を乗り越えた復興のシンボルとして、再建を果たした。神戸の芸術・文化活動の中心としての役割を果たしている。
- レンガタイルを貼った外観は神戸のイメージを大切に「クラシック・モダン」を基調としている。また、地下街とのネットワーク化を図り、三宮地区と一体となった魅力ある歩行者空間を創出している。

新開地二丁目「ええとこ広場」(神戸市兵庫区)



復興まちづくりから生まれたエコスポット

- 新開地2丁目商店街に接した間口約8m、奥行き約24mの細長い敷地に設けられた「広場」で、まちづくりスポット創生事業の商店街内の第一号適用事業である。
- 「木の広場」(H10.7の台風7号により被害を受けた風倒木「ひのき」を利用)と「土の広場」(住民参加でできた花壇を設置)を設け、地域住民の憩いの場、来訪者に安らぎを与える新開地のエコスポットとなっている。

阪急伊丹駅(伊丹市)



市民の声を生かした
「すべての人にやさしいターミナル」

- 震災後、これまでの駅施設の水準を超えるモデル駅の実現を目指し、「高齢者・障害者を含めたすべての人に優しい駅」として新たなスタートをきった。
- シンプルな動線の確保、徹底的な段差解消、わかりやすい各種案内設備など、利用者のニーズをきめ細かく反映した整備を行っている。
- 大型エレベーター2基、車いす対応トイレのほか、

音声触知案内板や音声ガイドシステム、車いす用避難スロープなど先進的な設備を導入している。また、ベビーシートや授乳室など子供連れの人への配慮もきめ細かい。

安井まちづくり協議会(西宮市)



住民と行政等の
信頼・協働によるまちづくり

- 復興まちづくりを目指し、平成7年11月、安井地区自治会連合会等を母体として発足。市や専門家の支援を得て、地区計画の策定などに取り組んできた。
- 住民の意向を踏まえながら協議を重ね、地区計画を策定した。また、

地区計画策定後も、地域別課題抽出のワークショップや、交通安全対策など積極的にまちづくりに取り組む姿勢が評価できる。